

# フォト スケッチ

PHOTO SKETCH



## 第15回 那須地区郷土芸能 フェスティバル

那須地区に伝わる伝統芸能を保存・継承している団体が一堂に会し、代々受け継いできた神楽(かぐら)やお囃子(はやし)などを披露しました。大田原市からは4団体が参加し、古式ゆかしい舞や音色で観客を魅了しました。



那須神社獅子舞保存会(南金丸)



那須神社永代々神楽保存会(南金丸)



蛭田結社お囃子会(蛭田)



黒羽高等学校黒羽太鼓同好会(前田)



10月23日・24日 勤総展  
(大田原市勤労者総合福祉センター)

市勤労者総合福祉センター主催講座の受講生や同センターを利用する自主活動グループなどに所属する市民の作品展が開催されました。屋外では、両郷産の野菜直売および、今年から新たに焼きそば・玉こんにやくなどの販売も行われ、たくさんの来場者でにぎわいました。

『広報おおたわら』に掲載の写真をご希望の方は秘書課広報広聴係  
TEL (23) 8700までご連絡ください。



10月9日～11月14日  
特別企画展「那須家の芸術と学問」  
(那須与一伝承館)

江戸時代<sup>すけあきら</sup>に文化・芸術面で深い造詣を示した那須資明・資礼・資興三代<sup>すけひろ</sup>の作品を中心に、那須家の文芸活動について紹介する特別企画展<sup>すけおき</sup>が開催されました。個人蔵の琵琶銘「鳴滝」<sup>びわめい</sup> (旧銘「松風」) や弘前市立図書館蔵<sup>なるたき</sup>「平曲古今譚」<sup>きゅうめい</sup> など、貴重な資料が展示されるとあって、期間中、市内外から1,648名が来場し、那須家の歴史と芸術を堪能しました。